

官	復	任	長	課	長	部	官	長



一復電三七號

鹿兒島上陸地支局ノ件

昭和貳拾年十二月七日

第一復員省文書課長

西部復員連絡局總務部長殿

西復電第六號返

鹿兒島上陸地支局ノ變更ニ關シテハ現在迄ノ申入レノ所感ハ相當ノ  
難點アリテ實現ノ公算渺キカ加キモ目下厚生省防疫課長、聯合軍司  
令部關係者カ鹿兒島等ノ視察中ニシテ其ノ結果ヲ俟テ更ニ正式ニ申  
込ム如ク考慮中ナリ

通電先 西復員連絡局 西部復員課部

又二二

陸軍

0215

官	長	部	長	課	長	主任	復	官
								柳

中國復總第四號

上陸地支局移動ニ關スル件報告

昭和二十年十二月四日

中國復員監部總務部長

西方復員連絡局總務部長 殿

首題ノ件ニ關シ先ニ中國復總電第三號及同復復電第七號ヲ以テ報告セル處其ノ細部ニ關シ左記ノ如ク報告ス

左記

一 上陸引揚援護局設置ニ關スル中央指示ノ到着ニ伴ヒ廣島縣當局ニ於テハ陸海軍ト連繫シ之カ設置方ニ關シ研究準備中ノ處十一月三十日第十軍團長クラークソン少將ハ同司令部ヲ訪問セル楠瀬廣島縣知事ニ對シ上陸引揚援護業務ノ進捗所望ニ滿タサルヲ指摘シ業務促進上陸地點ノ變更等ニ就キ左ノ如ク指令セリ

イ 予品港ヲ解雇人ノ送出港トス

大竹港（廣島市西南方三十村）ヲ引揚邦ノ上陸港トス

回覽  
畫ニ返

陸軍

(日本標準規格 R-5)

0216

ハ米國船ハ外地ヨリ似島迄ノ輸送ヲ擔任ス

似島ヨリ上陸地點ヘノ輸送ハ日本側ノ擔任トス 上陸後直ニ鐵

道輸送ニ依リ歸郷シ得ル者ハ子品ニ上陸セシムル事ヲ稀

ニ似島、子品、大竹ニ各々五千人分ノ宿泊收容施設ヲ設備ス

ホ大竹、似島ヲ含ム業務責任者ヲ大竹ニ置ク

似島ニハ別ニ同地ノ業務責任者ヲ置ク

ヘ事務局本部ヲ子品ニ置ク

ト引揚（送出）者ノ規定外付並銀ヲ超過スル携帶金ノ沒收施設ヲ

子品及大竹ニ設ク

沒收金額ノ日計表ハ毎日第十軍團司令部ニ呈出ス

ニ廣島縣知事ハ十二月一日右指令ニ對シ之ヲ受諾スル旨回答セリ

三十二月一日第十軍團長ハ更ニ四司令部附テ一リ一太佐、ジヨルゲ

ンソン少佐及服部終城連絡業務局長（吳）ヲ廣島縣廳ニ派遣シ細

部ニ關シ口頭ヲ以テ大要左ノ指示ヲ爲セリ

イ 似島、宇品、大竹ニハ激波施設ヲ完備ス

ロ 各地ニ責任警官ヲ配置ス

ハ 各地ニ給養施設ヲ完備ス

鮮華人ハ自炊ヲ爲ス事アルヲ以テ宇品ニハ自炊設備ヲ爲ス事

ニ 收容施設ノ清掃ハ鮮華人ヲシテ行ハシムル事ヲ得

ホ 歸還邦人ニ對シ米船（米働）ヨリ貸與セル被服ハ似島ニ於テ之

ヲ返却セシム

ヘ 米軍ハ秩序維持ノ爲宇品及大竹ニ各々一ケ中隊ヲ配置ス

ト 鮮華人ノ過度ノ宇品集中ヲ祝詞スル手段（ラジオ、新聞等）ヲ

講スル事

之カ爲米軍ヨリモ鮮華人一般ニ布告ヲ發スル用意アリ

チ 右諸準備ハ十二月十日頃ニ完成スヘシ

四 以上ニ基キ縣知事ハ陸海軍厚生現地機關ト協議且現地ノ一部ヲ實

視シテ上陸引揚援護局ヲ宇品ニ上陸地支局ヲ大竹ニ舊廣島第二陸

軍病院（在宇品）ヲ開放シテ送出鮮華人ノ收容所トシ之カ爲同院  
入院患者約三百名ヲ大竹（舊海軍病院ヲ使用）ニ移動スヘク決定  
シ十二月二日夜右ノ旨中國復員監ニ通報シ來レリ

當部ニ於テハ諸般ノ事情已ムヲ待サルモノト認メ之ヲ諒トシ各機  
關ノ移動ノ爲積極的ニ協力ヲ與フル事トセリ

十二月四日以降宇品ニ在ル各機關ハ米軍船舶、自動車等ノ協力ヲ  
受ケ大竹ニ向フ移動ヲ開始セリ

右ニ伴ヒ宇品病院（舊廣島第二陸軍病院）ハ第一收容ノ任務ハ大  
竹病院（舊海軍）ニ譲ルコト、ナレルヲ以テ爾後ノ病院ノ移管任  
務等ニ關シ關係方面ト協議中ナルモ一部ヲ以テ引續キ宇品ニ於ケ  
ル引揚者ノ診療防檢疫等ノ任務ヲ補助スルコト、ナルヘシ

報告先 第一復員次官、四方復員連絡局總務部長